

## シンガポールで松本の観光プロモーション

7月14日(水)、サンテック・コンベンションセンターにおいて、長野県松本観光コンベンション協会が「松本観光プロモーション(Matsumoto Tourism Promotion in Singapore)」を開催しました。松本観光コンベンション協会が主体となり、地元の観光協会関係者、宿泊施設等の民間事業者ら18名が来星し、松本への観光旅行を中心とするPR活動を行い、当日の観光セミナー及び商談会には、シンガポールの旅行代理店、航空会社、メディア関係者等58名が出席しました。

観光セミナーの開催に当たり、松本観光コンベンション協会の井上会長が挨拶において「シンガポールからの訪日旅行先として、長野県を含む中部地方は人気の高い地域のひとつであるものの、松本市の知名度はそれほど高くないという現状に鑑み、今回、市レベルとしては初となる海外での観光プロモーションを実施した」旨の説明がなされました。井上会長の挨拶に続き、ミス松本による松本市の紹介、次いで山石同協会誘致促進課長によるプレゼンテーションが行われました。プレゼンテーションでは、国宝松本城や日本屈指の山岳景勝地である上高地、16種類の様々な泉質から成る温泉等の観光名所、また、地元名物である「とうじ蕎麦<sup>注</sup>」、伝統工芸の手鞠等が紹介されました。さらに、釣り、パターゴルフ、フルーツ狩り、トレッキングそしてスキーと、四季折々のアクティビティが楽しめること等がPRされました。



壇上での自己紹介の様子

プレゼンテーションは、美しい風景写真を多用しており、また、周辺の主要観光地である箱根温泉、下呂温泉、草津温泉、飛騨高山、そして富士山等との移動時間を説明することで、松本を含む広域の観光ルートが紹介されていました。

観光セミナーに続く商談会では、民間事業者等が個別デスクを設け、旅行商品の造成に向けて出席者との商談が行われました。ブースを出展した宿泊施設の担当者によると、出席者からは、桜が見ごろとなる時期や、宿泊料金等についての質問が寄せられ、松本市への関心の高さが窺えたと話していました。また、セミナーを後援したJNTOシンガポールは、今回のプロモ



商談デスクの様子

ーションについて「宿泊施設等の民間事業者が商談会に参加することで、自治体による単なる観光 PR ではできない、より具体的な交渉が可能となったことが、出席者の関心を高めることにつながっている」と話していました。

商談会も終盤に差し掛かった頃、会場では地酒や地元産ワインの試飲、そして蕎麦打ちのデモンストレーションが行われ、打ちたての蕎麦を使った松本・奈川名物「とうじ蕎麦」が出席者に振る舞われました。日本製品の人気が高いシンガポールでは、霜降り和牛、寿司なら脂の乗ったマグロ、サーモン等の人気が特に高く、蕎麦のようなシンプルな料理の評価が気になったところですが、多くの出席者が試食し、その味を堪能している様子でした。

今般、多くの自治体がシンガポール市場からの観光客誘致に関心を寄せており、当事務所では JNTO と連携し、自治体からの要望に応じた各種支援を行っています。今回の観光プロモーションの開催に向けては、5月に実施された事前調査以降、様々な情報提供を行うとともに、当日の運営支援や、併せて行われた個別の旅行代理店等へのセールスコールのアポイントメント取得及び同行支援等を行いました。訪日旅行に関する基本情報がある程度浸透し、旅行先としての日本のプレゼンスが確立してきているシンガポールにおいては、今後は今回のような、いまだあまり知られていない奥深い日本の地方の魅力を紹介する取組みも、新たなマーケットの掘り起こしという意味において効果があると感じられました。当事務所では、このような自治体の活動を引き続き積極的にサポートしていきたいと考えています。

なお、当事務所が行っている活動については、ホームページをご参照ください。

→ <http://www.clair.org.sg/j/index.html>

注：「とうじ」とは、投げ入れ、ひたし、温めるという意味があり、旬の山菜、きのこ、野菜を煮立て、そのだし汁の中に、一椀ずつの小割（小分け）した蕎麦の玉を入れてさっと温めて食べる。

(2010.7.14 松本観光プロモーション活動支援)  
(矢部所長補佐 宮城県派遣)